

駅前活性化に対する取り組み課題と施策案

平成22年2月23日

駅前活性化に対する取り組み課題と施策案(その1)

現状等

まちの

市は、奈良県の大和平野の西南部に位置し、西部に 金剛山・葛城山が峰を連ね、東南部の丘陵地から平地 の広がる緑豊かな田園都市。豊かな自然や悠久の歴 史・文化遺産を今に伝える、ロマン漂う生活文化都市 県都奈良市へは約25km、大阪の都心部へは約30km の距離。昼・夜間人口比0.915

人口

市人口は、平成20年10月1日現在、31,244人(昭和40 年比14%減)・12,346世帯。高齢化率は29%と超高齢社

今後も人口減少が続く見込み。

御所駅周辺地区の人口は、昭和40年比で45%減

御所の玄関口

御所駅周辺は、商業地域に指定されており、御所駅 東300mに御所市役所や市立図書館、50m西に大型店 (ライフ)が集まる御所市の中心

駅前という来訪者や利用者の多い立地を生かし、御 所市をPRするために、現在閉鎖している駅売店を活用 することを提言します

駅前の景観のイメージアップを図るため、駅前の老 朽化した建物に対し、所有者と改修等の調整を行い、有 効活用することを提言します

『御所市の顔』として駅前のイメージアップを図るた め、市の標語タワー等については、駅前の広場スペー スに合わせて縮小するか、又は駅前以外の場所に移設 することを提言します

課題

歷史·文化遺 産を今に伝える 都市や御所まち の最寄り駅に相

応しい顔づくり

定住人口減少 による活力低下 を補う、交流人 口の呼び込み

市の中心市 街地に相応しい 風格や、市民・ 観光客が集まる ことによる賑わ いの再生

求められる姿

歴史・文化遺産を

今に伝える、訪れ

(駅前で受ける、第一

玄関口づ(リ)

ンジ)

たいまちを目指した

印象のイメージチェ

施策1

・御所駅周辺の景観づくり

(駅や駅前広場施設だけでなく、駅から見える 範囲の景観誘導による文化的なイメージづくり

施策(案)

今後、御所市では定住人口の減少が見込まれて おり、市の特性(歴史・文化)を活かした観光客 (交流人口)の呼び込みがまちの賑わいづくりに 重要となる。

御所駅周辺は、市役所等の公共施設や観光地 の「御所まち」がある市の玄関口であり、市民や 観光客等に好印象をもってもらえる景観づくりを



はすぐに取り組み、効果を求めるもの は中期展望をにらみ、時間をかけて 効果を狙うもの

駅前活性化に対する取り組み課題と施策案(その2)

現状等

駅利用状況

近鉄御所駅、JR御所駅があり、近鉄御所駅が年間約 100万人の利用がある市の玄関駅

両駅まで「徒歩」で行〈人が39%と最も多〈、つづいて 「自転車」25%で、「自家用車(送迎)」も13%

御所まちには歴史的建造物等に曳かれた少なからず の観光客が集まる

駅周辺都市基盤施設 の状況

近鉄御所駅は近鉄御所線の終着駅。 国道24号に面 する東側に駅前広場があるが、広さ等が不十分 平成14年に駅前広場再整備計画があげられたが、検 討途中で中止

近鉄御所駅の60m東にJR御所駅があるが、駅前広場 やアクセス道路が脆弱

近鉄側に改札口等が無く、乗り換えには大きな迂回 が必要だが、乗り継ぎ利用は9%と少ない

駅前広場の待合い施設は、老朽化し、バリアフリーな 空間となっておらず、案内サインも未整備

JR及び近鉄御所駅前の問題点改善に必要なことは

- 「駅前待合いスペースの再整備(15.7%)」
- 「駅前バス停への屋根設置(13.9%)」
- 「駅前観光案内所の充実(11.3%)」

格が不揃いなベンチを撤去し、広告無し又は小スペー のあるベンチに取り替えることを提言します

課題

通勤・通学や 観光等で、御所 市に出入りする 人が、快適な駅 前環境づくり (特に、徒歩やバ スとの乗換利用 に配慮して)

御所まちへの 最寄り駅として の、駅での積極 的な情報の発信

中止の経緯や近 づくり

求められる姿

歴史・文化遺産を 今に伝える、訪れ たいまちを目指した 玄関口づくり (小規模改善型での 駅前で受ける第一 印象のイメージチェ

への回遊誘導(観

(来街者の増加による

賑わいづくりへの優

はすぐに取り組み、

効果を求めるもの

は中期展望をにら

み、時間をかけて

効果を狙うもの

光促進)

先対応)

ンジ) [再掲]

地域公共交通に対する施策案

「施策4:近鉄御所駅前広場のフィーダー交 通の再配置とバスのりばの上屋やベンチの 整備」と関連

駅前から御所まち

再整備計画 鉄 - JRの乗り 継ぎ需要を踏ま えた、小規模改 善型での優先順 位に留意した交 通結節点の環境

施策3

·駅前からの観光PRの強化

(駅売店跡を活用した観光案内所の充実、商 店街入口部での誘導ゲートの設置、御所駅前 ~ 商店街~御所まちへと人が流れる案内サイ ン整備など)

御所駅は、「御所まち」の最寄り駅であり、駅利 用者を増やし、市に賑わいを呼び込むには、駅 を利用して「御所まち」観光を楽しむ人を増やす ことが重要である。

そのため、比較的小さな事業規模で、振興に一 定の効果が見込める駅前での観光PRや駅から 「御所まち」までの観光案内の強化に取り込む。

地域公共交通に対する施策案

「施策7:御所駅等でのフィーダー交通や御 所まち界隈への案内サインの整備や歩行環 境の改善」と関連

御所駅前の環境

ニーズ 住民

駅前の美観を図り、駅利用者に憩える場を提供する ために、既設の巨大な広告入りのベンチ、また材質、規 スの広告入りのベンチ、若しくは木製等でできた統一感

施策2

·御所駅前空間の環境改善

(バス乗り場の上屋・ベンチの整備、広告物の整 理、バリアフリー化等)

御所駅周辺は、市の玄関口であり、市民や観光

施策(案)

客等に好印象をもってもらえる環境づくりが重要 であるが、再整備計画中止の経緯から、大規模 なまちの創り直しは困難と考えられる。 そのため、住民ニーズを踏まえ、比較的小さな 事業規模で、駅前利用者の満足度向上に大き な役割を果たす、「環境改善」を優先的に取り組

現状等

H19小売業は、商店数305(H16比16%減)、従業者数1.700 人(同5%減)、年間商品販売額38.626百万円(同18%増)

商店街 の状況

近鉄御所駅西側には、物販中心の「商栄会(9店舗)」「末 広(5店舗)」「新地(16店舗)」「御国通り(10店舗)」からなる4 商店街が連なり、御所まちへと続いている。

店舗形態は「店舗兼住宅(70.0%)」、経営者の年齢は「55 歳以上(70.0%)」、 店舗1日平均来店者数は「10人未満 (52.5%)」、「10~29人(32.5%)」

営業形態は「土地・建物ともに所有(65.0%)」、「店舗建物 のみ所有(22.5%)」、「テナントとして営業(10.0%)」

ゲートやアーケード等、商店街施設の老朽化

御所駅前

の

6商店街

よ〈行〈買物先は「ライフ御所店(32.4%)」で、目的は「食料 品の買い物(86.9%)」、移動手段は「自動車(55.2%)」が最多

商店街利用者は17.0% 目的は「銀行(24.9%)」「食料品の 買い物(20.2%)」の順で、移動手段は「自動車(40.0%)」「自転 車(22.5%)」の順

商店街での自動車通行は、「お店近くまで行けるようにす べき(46.2%)」、「自動車の通行を規制すべき(26.7%)」

にぎわい、活力ある商店街に変わる必要は「ある(83.8%)」

整備方向は「日常に使う人及び観光客ともに対象とした整 備をするべき(71.1%)」で、「日常利用者向け」で必要なこと は「待合いスペース整備(14.6%)」等

活性化に必要なことは「自動車駐車場所の整備(29.2%)」 で、自動車の商店街通行は「お店の近くまで行き、買い物 できるようにすべき(50.0%)」

商業者二一

来訪者に対してPRを行い、近鉄御所駅前から商店街を経 て、御所まちに人の流れを生み出すために、駅前商店街の アーチ型看板等に"おもてなしの言葉"を表示し、ウェルカム ゲートとして活用することを提言します。

商店街活性化(商業中心ではなく、コミュニティ中心として) ・駅入口から商店街にかけての交通規制(入り口部の修復 と交通規制)

・商店街のルールづくり(商業地・住宅地の関係整理) ・コミュニティスペースの設置(高齢者・子ども拠点や御所ま ちと連携した拠点など)

他のそ

「商栄会」「新地」区間は(都)大広相田線(W=12m)が未整 備で、通過交通も通り、安全・快適に歩けない。

課題

御所駅前の 商店街の特性を 踏まえた、まちづ くりの推進 (御所まちへの 近さや、今後10 年で商店街環境 が大きく変化す ると予想される 中で)

商店街周辺を 訪れる住民の商 店街への吸引促 進(車で近くまで 訪れた人の回遊 促進)

商店主が望む。 現状尊重型の緩 やかな商店街活 性化の取り組み

求められる姿

御所まちを生かした、 商店(街)のにぎわ い回復

施策(案)

施策4 ・御所まちと商店街を含む、観光まち歩

進の取組 (例えば、御所まちから商店街・御所駅を通り、 葛城山へと続く行者街道をPRするための案 内マップ作成、安全・快適な回遊路の確保な

き・サイクリングルートの設定と、利用促

御所駅前商店街は、現在住民ニーズと十分 合っていないと推察されるが、商業者の世代 交代を契機にまちが変わる可能性もあり、観 光客等にも利用してもらえる条件整備が重要

そのため、観光客等にも商店街を気軽に訪 れてもらえる条件整備の一つとして、観光 ルートの設定等を図る。

地域公共交通に対する施策案 「施策7:御所駅等でのフィーダー交通 やごせまち界隈への案内サインの整備 や歩行環境の改善」と関連

コミュニティ中心と しての、商店(街) のにぎわい回復

施策5

・御所まち、市役所・図書館、ライフ・銀行 等の利便施設など周辺施設利用者を商 店(街)へと引き込む市民等交流拠点づ

(例えば、ついでに立ち寄りたくなる、囲碁や 将棋が楽しめる高齢者の集いの場や、絵本や おもちゃのある喫茶室など子ども連れの集い の場の確保)

御所駅前商店街は、現在周辺施設からの回 遊客が少ないが、商店主も一から商店街を作 り直すまでは考えていないため、活性化に向 け、周辺住民等の市民に訪れてもらいやすい 環境づくりから始めることが現実的である。 そのため、商店街内の空き店舗等を利用して、 住民が集い、ライフや駅など周辺施設利用時 に、一歩足を伸ばしてもらえる小さな交流拠 点づくりを図る。

はすぐに取り組み、 効果を求めるもの

は中期展望をにら み、時間をかけて 効果を狙うもの



駅前活性化に対する取り組み課題と施策案(その4)

現状等

課題

求められる姿

施策(案)

概地 要区 御所駅南西には、歴史的街並みを今に伝える「御所まち」がある

地区住民や、駅と御所まちを 結ぶ位置にある 商店街との協働 による、観光まち づくりの推進 訪れないと得られ ない魅力の強化を 通しての、御所まち の観光活性化 施策6

・住民の日常生活に馴染む形での街並みの魅力強化やPR、小さな活性化拠点づくり

(地元組織等と連携した「街並み」のPRと、「御所まち」内で観光客が休憩し、楽しめる広場・飲食店・雑貨店等の確保など)

「御所まち」には、歴史的な街並みなどの魅力資源があるものの、祭りの日など一部を除き、訪れる観光客は少ない。市の活性化には観光客の増加が望まれるため、御所まちを守り育ててきた住民と連携してハード・ソフト面で観光客誘致の取組を図るほか、増加する観光客を見込み、商業者による活性化の取組を促す。

御所まち

| 活性化への提言 | 大生による御所書

町屋·水路

- ・伝統的な町屋の保存・活用
- ・背割り水路を活かす
- ・御所まち来訪者の回遊性の向上

ものづくり

- ・御所と結びついた「物語性」ある新商品開発、統 ープランドマークづくり、高品質製品の大消費地 展開、既存製品の「二次機能」の掘り起こし
- ・ものづくり体験を通じた地域活性化、「もの」と 「人」との接点となるスペースの確保

教育

- ・社会教育への提案
- ・学校教育との連携についての提案

「御所まち」の ブランド化による 活性化

地域の産業振興や → 歴史・文化教育を 通しての、御所ま ちのブランド化

施策7

·まちに残る「本物」ブランドの メニュー開発とPR

(街並みだけでなく、地域資源の地酒、紙やそれを 利用した新商品開発、販売、体験など)

「御所まち」の観光振興を図るためには、訪れた人が歴史的な街並みを見るほかに、楽しめる付加価値をいかに作り出せるかが重要となる。

そこで、例えば、観光客が古い街並みを舞台に、御所まちで取引される商品等を活かした体験が楽しめるようにしたり、商品そのものの付加価値を付けるなど、ブランド化を図る。



はすぐに取り組み、

効果を求めるもの

は中期展望をにらみ、時間をかけて効果を狙うもの